

特別会計の概要

各会計の表中の「純計額」とは、予算総額から一般会計からの繰入金を除いた額です。

(1) 国民健康保険特別会計

(単位：千円、%)

	19年度	18年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	12,888,000	11,625,060	1,262,940	10.9
純計額	11,855,775	10,545,818	1,309,957	12.4

これまでの医療給付費における決算を勘案した中で、歳出総額を12,888,000千円(対前年度比10.9%増)と見込んでおります。増額の主な要因としては、平成18年度中に保険財政共同安定化事業が創設されたことによるもので906,959千円の増となっております。なお、加入世帯は28,637世帯(対前年度比0.6%増)、加入者数は50,308人(対前年度比1.6%減)を見込んでおります。

(2) 公共下水道事業特別会計

(単位：千円、%)

	19年度	18年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	6,901,961	6,627,636	274,325	4.1
純計額	4,098,987	3,741,812	357,175	9.5

19年度の整備予定は、藤崎2丁目下水道工事をはじめとする管渠整備を推進し、津田沼、印旛、高瀬の3処理区で処理区域の拡大を図ります。整備面積11.76ha、整備延長3,835.3mを実施することにより、19年度末下水道普及率は、81.9%(18年度末下水道普及率見込み81.0%)となる見込みです。

(3) 老人保健特別会計

(単位：千円、%)

	19年度	18年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	8,038,868	7,890,101	148,767	1.9
純計額	7,410,820	7,301,646	109,174	1.5

これまでの医療給付費における決算を勘案した中で、医療給付総額を8,004,092千円(対前年度比1.9%増)、年間延べ受診件数を337,887件(対前年度比1.3%減)、1件当りの平均医療給付費を23,689円と見込んでおります。

(4) 介護保険特別会計

(単位：千円、%)

	19年度	18年度	比較	
			増減額	増減率
予算総額	5,595,416	5,285,182	310,234	5.9
純計額	4,660,078	4,371,484	288,594	6.6

18年度から20年度までの第3期介護保険事業計画に基づき、65歳以上の高齢者人口27,047人(対前年度1,290人増)、要介護認定者数3,601人(対前年度196人増)、居宅サービス利用者数2,318人(対前年度151人増)、施設サービス利用者数632人(対前年度13人増)を見込んでおります。